

ワットマン 濾 紙 名	JIS規格 JISP3801	灰分含有率 (%)	厚さ (mm)	荷重容量	粒子保持能 (μ m)	濾過速度	用 途
1	1種	0.06	0.18	中	11	中	最も広く利用されている研究室用濾紙。
2	2種	0.06	0.19	中	8	中	No.1よりやや厚く、粒子保持性もNo.1よりよい。吸収性が高い。
3	—	0.06	0.39	やや強	6	遅	粒子保持性は大変よく、湿潤強度が大きい濾紙。
4	—	0.06	0.21	中	20～25	速	濾過速度はやく、粗粒子やゼラチン状沈殿物を保持。
5	—	0.06	0.20	中	2.5	特に遅	濾過速度遅く、丈夫な濾紙で微細粒子を濾別できる。
6	3種	0.1～0.2	0.18	中	3	特に遅	表面が平滑であること以外はNo.5と類似。
グレード2V	2種	0.06	0.19	中	8	中	ひだ折り状態なので手間が省けます。No.1よりやや保持力が高く、濾過速度は少し遅い。
40	5種B	0.01	0.21	中	8	中	定量分析で最も一般的に使用されている。
41	5種A	0.01	0.22	中	20～25	速	濾過速度が速く、粗粒子やゼラチン状沈殿物の濾過に適する。
42	5種C	0.01	0.20	中	2.5	特に遅	非常に微細な沈殿物の分析用。
43	—	0.007	0.22	中	16	中	No.40とNo.41の中間の保持能とNo.40より2倍速い濾過速度を持つ濾紙。
44	6種	0.01	0.18	中	3	特に遅	No.42を薄くしたもので、1枚当りの灰量が少ない。
50	4種	0.025	0.12	中	2.7	特に遅	粒子の保持力が最も優れて、しかも表面は特に平滑で光沢がある。
540	—	0.008	0.16	中	8	中	酸・アルカリ耐性が強く、酸処理で硬質化し、湿潤強度も高い。